

まちづくり達成状況報告書（事務事業点検シート）

課等名：

下水道課

シートNo： 97

作成日： 2024/6/28

① 総合計画上の位置付けと事務事業説明

後期基本計画	施策の大綱	V都市基盤の充実	背景・課題	経営状態改善のため、3つの目標を設定します。 ① 収入の増加 接続率を向上し、下水道使用料を増やすため、普及啓発活動を行います。その一方で、未収金の集金も行っていきます。 ② 支出の減少 維持管理費増加に対応するため、ストックマネジメント事業や広域化・共同化事業を推進し、経営のスリム化を目指します。 ③ 経営戦略の見直し 既存の経営戦略と現状と比べて、再度検証し改定を行うことで、今後の経営健全化の指標とします。
	施策の目標	3快適な都市環境の整備を進める	現在の下水道事業は、人口減少や少子高齢化の進行によって、使用料などの収入が減少する一方、物価高騰により支出が増加しています。そのため、決算上では純利益を出していますが、他会計からの繰入金を多く入れており、経営状態は必ずしも良いとは言えません。	
	施策	5下水道	によって、経営状態の改善のための目標を設定し、その目標達成のためのアクティビティ(活動)を推進していかなくてはなりません。	
	施策内容	公共下水道事業運営の適正化		
	その他、根拠法令及び分野別計画	—		
事務事業名	公共下水道事業運営の適正化			

② インプット（投入）

主な予算科目	会計名	
	下水道事業会計	
	款	—
	項	—
	目	—
事業	—	

③ 主なアクティビティ（活動）とアウトプット（結果）

アクティビティ（活動）				アウトプット（結果）	
活動名	対象者	活動指標（回数・件数・日数等）		活動指標（参加者数・面積等）	
		R5年度実績値	R5年度目標値	R5年度実績値	R5年度目標値
ふるさと祭りでの普及啓発活動（目標①）	市民	実施回数 1回/年	実施回数 1回/年	来場者数 約500人	来場者数 約120人
下水道受益者負担金の未収金督促訪問（目標①）	受益者	実施回数 随時/年	実施回数 随時/年	延べ訪問数 約120件	延べ訪問数 随時発生
下水道使用料の未収金夜間督促訪問（目標①）	使用者	実施回数 2回/年	実施回数 2回/年	延べ訪問数 20件	延べ訪問数 20件
ストックマネジメント事業の推進（目標②）	市	—	—	—	—
広域化・共同化事業の推進（目標②）	市	—	—	—	—
アドバイザーを利用した経営現状分析（目標③）	市職員・事業者（アドバイザー）	打合せ回数 4回/年	打合せ回数 3回/年	—	—

④ 初期・中間アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R5年度目標値
受益者負担金過年度未収金収入額（全体）	1,647,480円	1,500,000円/年
使用料未収金収入額（夜間集金先分）	124,794円	120,000円/年

⑤ 最終アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R9年度目標値
維持管理費の削減・平準化を目標とした施設の統廃合（事業費執行率）	—	5%

⑥ 点検

改善の余地						今後の方向性		
<input type="checkbox"/>	コスト	<input checked="" type="checkbox"/>	活動	<input type="checkbox"/>	成果	<input type="checkbox"/>	その他	・今年度作成した経営現状分析を令和6年度から始まる経営戦略改定で活用し、計画的かつ合理的な経営をすることに繋げていきます。 ・使用料督促については、委託事業者をより活用することで、訪問件数を増やし、過年度未収金額の減少を目指します。また、事前に訪問先の分析を積極的に行います。 ・ストックマネジメント事業の推進による、施設の長寿命化、維持管理費用の削減及び平準化を図ります。 ・令和6年度に、広域化・共同化事業に関するスケジュール・費用について、ロードマップの作成を予定しており、下水道事業全体との整合を図りながら、施設の統廃合による維持管理費用の削減を推進します。
業務の振り返り								
・受益者負担金督促訪問は、事前に訪問先の分析等をし、必要に応じて随時訪問することで、より少ない時間と人員で効果的に集金ができたことから、使用料督促訪問でも、事前に分析等を行い効率化をしていく必要があります。 ・令和6年度から本格的に着手する広域化・共同化事業、令和8年度に更新するストックマネジメント計画について、概算事業費等のシミュレーションを行い、事業全体の検討を実施しました。								